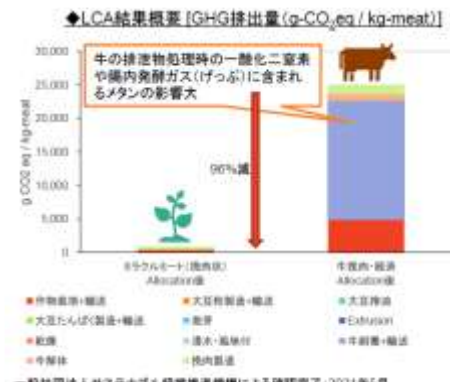
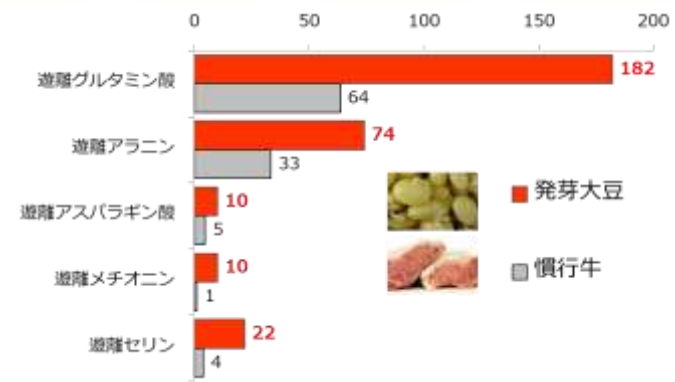
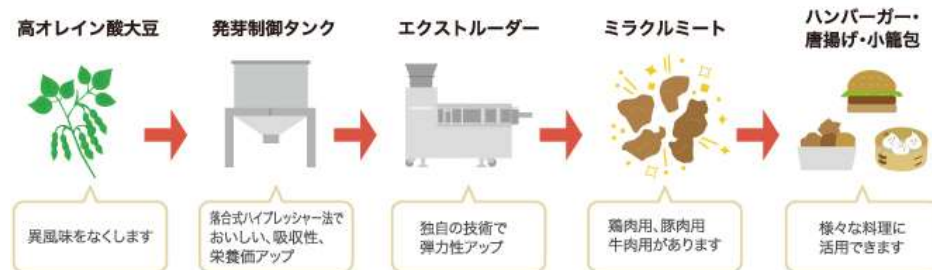


～令和3年度中堅・中小企業輸出ビジネスモデル調査・実証事業費補助金 採択事業～

次世代植物肉原料「ミラクルミート」の海外輸出による日本発フードテックによる世界的なタンパク質危機への貢献

社名	DAIZ株式会社 / DAIZ Inc. (旧名 大豆エナジー株式会社)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 植物肉の開発・生産・販売 創薬・探索情報となる大規模フィットアレキシン（植物二次代謝物質）の開発、提供
設立	2015年12月1日
資本金	10億2,508万円（累計資本調達額60.5億円） 2022年1月末日現在
株主	創業者 株式会社果実堂 (https://www.kajitsudo.com) 農林中央金庫 株式会社丸井グループ 日清食品ホールディングス株式会社 株式会社ニチレイフーズ 味の素株式会社 長谷川香料株式会社 丸紅株式会社 日鉄物産株式会社 兼松株式会社・兼松食品株式会社 ENEOSイノベーションパートナーズ合同会社 株式会社三菱ケミカルホールディングス 東洋製罐グループホールディングス株式会社 株式会社物語コーポレーション キリンヘルスイノベーションファンド 株式会社さちりホールディングス
代表者	代表取締役社長 井出 剛（創業者）



一般社団法人サステナブル経営推進機構による確認完了(2021年5月)



国内での販売実績のある「ミラクルミート」を海外市場向けに開発し、海外市場に対して国内協力会社を通じた発信、素材評価を実施。

評価結果を基に試作、製品化を繰り返し実施し海外向け商品の開発、販売につなげていく。



発芽大豆を使った肉以外の製品の開発

ツナ・ミルク等製品開発の促進
結着材、香料を掛け合わせた土地にあった風味への取り組み



アメリカ市場調査

アメリカにおいて、代替肉のメインはエンドウ蛋白によるものが多いことから、SOYタンパクにおける市場への適合性の調査及び、サンプルの提供による実地調査。



エンドウ蛋白と大豆蛋白のハイブリットによる製品の開発及びエンドウ蛋白単体製品開発の実施

チキンゲットコーナー
(Albertsons・Ralphs, LA)



精肉売り場に隣接した植物肉コーナー (VONS, LA)



植物性ソーセージ
Crumble

デリエリアにおける植物性パテ (Erewhon, LA)



朝食ソーセージ・Crumbleコーナー (Nob Hill, SF)



動物性ソーセージ
Crumble (もろ肉)
植物性ソーセージ
Crumble

SSW展示会について

◆ 展示内容について

ブースではKitchenTownにて事前にレシピ開発・製造したミラクルミートのパティサンプルの試食サンプルの配布、ミラクルミートおよびハンバーガー・ツナサンドの展示を実施。



ミラクルミート、ハンバーガー、ツナサンドのディスプレイ



ミラクルミートパティの調理の様子①



ミラクルミートパティの調理の様子②

◆ 来訪者の様子

- 1日目は15-20人/時間のペースで来訪者あり、多い時は一度に6-7名が立ち寄っていた。
- 2日目は最終日という事もあり、前日の半分程度であったが、安定的に1時間に10人程度の来訪者あり。
- 来訪者の約80%がパティを試食。中には「美味しい」と1日に2-3回立ち寄ってパティを試食するリピーターや、同僚を連れて再訪する方もいた。
- 来訪者の客層は食品原料・機能性素材メーカー・フォーミュレーター、食品原料のディストリビューター、食品系コンサルタント、レストラン経営者、物流業者、インベスター等。



18の顧客候補及び協業先との協議を進行中



4社の大手取引先と連携開始

EUへの取り組み

DAIZ株主である国内連携企業（商社）の取引ルートを活用し、EUへの企業へのアプローチの実施。



6社とのNDAの締結とともに、サンプル提供の実施。



代替肉が一般化しているため、
代替ツナでの提案の実施

FFFF展示会について

トレードショー・カントリーパビリオン

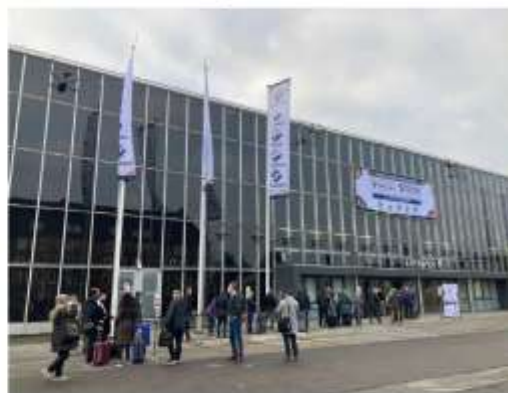


輸出を促進し、利用可能なトレードショーパビリオンブースの場所の1つに対応する機会を利用してください。今年は、新しいトレードショーパートナーとして、ナショナルパビリオンを充実させる準備ができています。



第8回Free From Functional Food & Health Ingredients展示会

- 2021年11月23日～24日
 - Rai Amsterdam@オランダ
 - 来場客数 約3,000人
(2019年実績7820人。開催直前のコロナ規制強化により来客数減。)
 - ブース費用€4,500
(入口付近のPremium area
その他エリアは€260/m²)
- <https://www.freefromfoodexpo.com/home/>



11の顧客候補及び協業先との協議を進行中



- 世界の食品工場としての多くの食品工場がある。
- 国内連携会社の食品工場もあるため連携がとりやすい。
- すでにPlant Based製品を製造しており、素材に対するハードルが低い。

これらより、ASEAN向け戦略として、ASEANにおける**製造への適合**及び、世界向けの**味、匂い等のノウハウとの親和性**を目指し取り組みを開始。

7社とのNDAの締結とともに、サンプル提供の実施。



**実証事業完了後の3月にて、東南アジア企業向けの販売開始
約100kgの初回販売の実施完了**

国内連携企業（味千ラーメン）のルートを活用し、中国味千へのアプローチの実施。



熊本企業の味千と関係の深い味千中国との連携を強化し、中国における販売路の確保、製造にかんするノウハウについて協議実施中



これらより、東アジア向け戦略として、中国味千を戦略の柱とし、製造、消費を一手に行っていく戦略を開始。また台湾、韓国の周辺国に関してもアプローチを開始。